

NPO法人仙台グリーフケア研究会

記念講演会

大切な方を亡くすということ

基調講演『遺族外来の現場から』

大西秀樹氏（埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科 教授）

鼎談『グリーフに向き合って』

大西秀樹氏

西田正弘氏

（NPO 法人子どもグリーフサポートステーション理事長）

滑川明男氏

（NPO 法人仙台グリーフケア研究会理事長）

日時:平成25年10月14日(月・祝)

14:00~17:00

場所:仙台ガーデンパレス 4階

(JR 仙台駅東口より 徒歩 約3分)



NPO 法人仙台グリーフケア研究会

<http://www.sendai-griefcare.org/>

☎070-5548-2186 E-mail grieffoffice@gmail.com





大西秀樹氏
埼玉医科大学国際医療センター
精神腫瘍科 教授

大切な方を亡くすということ

- 人生には、必ず終わりがあります。世間の方々の多くは、死ぬことなんか、考えたくもない、とおっしゃいます。当然です。自分は、お金もあれば、家族もいる。健康には十分気をつけていて、運動もしている。まだ、若いんだし、死ぬ訳が無い。
- しかし、そのような方にも必ず、人生の終わりがあります。我々は、東日本大震災を経験し、突然、何の前触れもなしに、命が失われていくことを、目の当たりにしました。震災だけではなく。その前もその後も、災害、事故、事件、様々な原因で、命の終わりを迎えておられる方が多数いらっしゃいます。病気、自死、戦争、死の原因は様々です。いつ死を迎えるか？どのような死に方をするか？これは、誰にもわかりません。
- 大切な方の死の後に遺されたひとは、深い悲しみを覚えます。途方に暮れて、何もする気力が無くなります。また、どうしようもない怒りや、こうしておけば良かったという後悔、自分が悪いと自らを責める気持ち。死別の悲しみには、いろいろな感情が沸き起こります。苦しい。なんとか、この苦しみにから逃れたい。
- 仙台グリーフケア研究会（グリ研）は、2006年からわかちあいの会を行なっています。わかちあいは、死別の悲しみ、苦しみを、安心して語る場です。2013年、グリ研はNPO法人となり、これからも大切な方を亡くしたひとに寄り添って、わかちあいを継続していきます。
- 今回、NPO法人格取得を記念して、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、遺族外来を開設し、長年、遺族に向き合ってきた大西秀樹氏をお迎えし、記念講演会を行います。また、グリ研創設時から、深く関わって頂き、現在、子どものグリーフサポートに尽力されているNPO法人子どもグリーフサポートステーション理事長の西田正弘氏とグリ研の理事長滑川明男が、大西氏と鼎談を行ないます。

【会場案内】

仙台ガーデンパレス 羽衣(4階)
●仙台駅 東口より徒歩約3分●

住所:仙台市宮城野区榴ヶ岡四丁目 1-5
電話:022-299-7177

